

芸術と憲法を考える連続講座 vol. 27

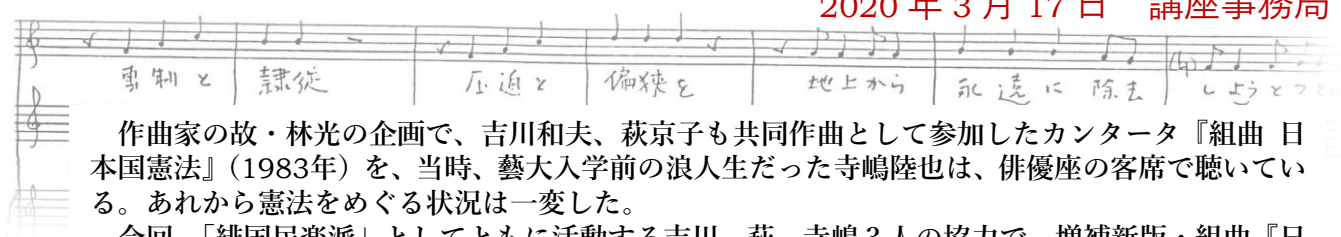
歌とお話でつづる

* 増補新版 組曲「日本国憲法」 *

* お知らせ *

3月27日に予定していた講座・組曲「日本国憲法」は、新型コロナ感染拡大防止の観点から、開催を中止します。なお、学外の別会場にて観客を入れずに収録した講座の模様を、後日ネットで動画配信いたします。

2020年3月17日 講座事務局



作曲家の故・林光の企画で、吉川和夫、萩京子も共同作曲として参加したカンタータ『組曲 日本国憲法』（1983年）を、当時、藝大入学前の浪人生だった寺嶋陸也は、俳優座の客席で聴いている。あれから憲法をめぐる状況は一変した。

今回、「緋国民楽派」としてともに活動する吉川、萩、寺嶋3人の協力で、増補新版・組曲『日本国憲法』が私たちの講座に登場する。面白くてためになる伊藤千尋さんのお話を散りばめ、世界の民主主義の歴史のなかに日本国憲法を位置づける、新しい組曲が誕生する。

* 芸術と憲法を考える アンサンブル9 *

歌：赤坂有紀、麻山皓太、雨宮昌子、泉篤史、大塚雅仁、岡原真弓、沖まどか、尾崎菜香子、熊谷みさと、佐藤敏之、白石静香、杉野成、鈴木あかね、鈴木裕加、竹内一樹、藤井あや、堀津誠、山本信夫

クラリネット：草刈麻紀 ヴァイオリン：早稲田桜子 ピアノ：寺嶋陸也

指揮：萩京子



萩京子（作曲と指揮）

1956年生まれ。東京藝大作曲科卒。オペラシアターこんにゃく座代表、音楽監督。オペラ作品に『シグナルとシグナレス』『金色夜叉』『口はロボットの口』ほか、古今東西の詩人の詩によるソングも多数。



寺嶋陸也（作曲とピアノ）

1964年生まれ。東京藝大作曲科卒、同大学院修了。オペラや室内楽曲、合唱曲、邦楽器のための曲など、様々なジャンルに作品があり、ピアニストや指揮者としても活動する。



吉川和夫（作曲）

1954年生まれ。東京藝大大学院修了。作曲家、宮城教育大学教授。1996年放送文化基金賞受賞。近作に、長田弘の詩による2つの無伴奏女声合唱曲など。



伊藤千尋（お話）

1949年生まれ。東大法学部卒。74年朝日新聞入社。中南米、欧米などの特派員をへて、現在はフリーの国際ジャーナリスト、「九条の会」世話人。近著に『9条を活かす日本』『世界を変えた勇気』。



お問い合わせ：kenpou.geidai@gmail.com（川嶋）

主催：自由と平和のための東京藝術大学有志の会

後援：日本ペンクラブ

イラスト：瀬辺茂

